

えびのエコミュ - ジアムセンタ - 補強改修工事

環境省九州地方環境事務所
株益田設計事務所

【補強工事の内容】

ア. 屋根の補強

既存の屋根面を上部から新たな屋根を新設するカバー工法で補強します。これにより噴石による既存躯体の大きな破損を防ぎ、施設内への被害を最小限に抑えます。また内部の展示空間に影響を与えずに合理的な補強が行え、現在の建物ボリューム及び周辺との景観調和を維持する事が可能となります。

イ. 開口部の補強

硫黄山に面する東側においては、エントランス前に防護壁を設置し、噴石の被害を防ぎます。また2階部分の展望デッキにおいては眺望に配慮して外付けブラインドを設置。その他の開口部には面格子を設置し、こぶし大噴石を防ぎます。

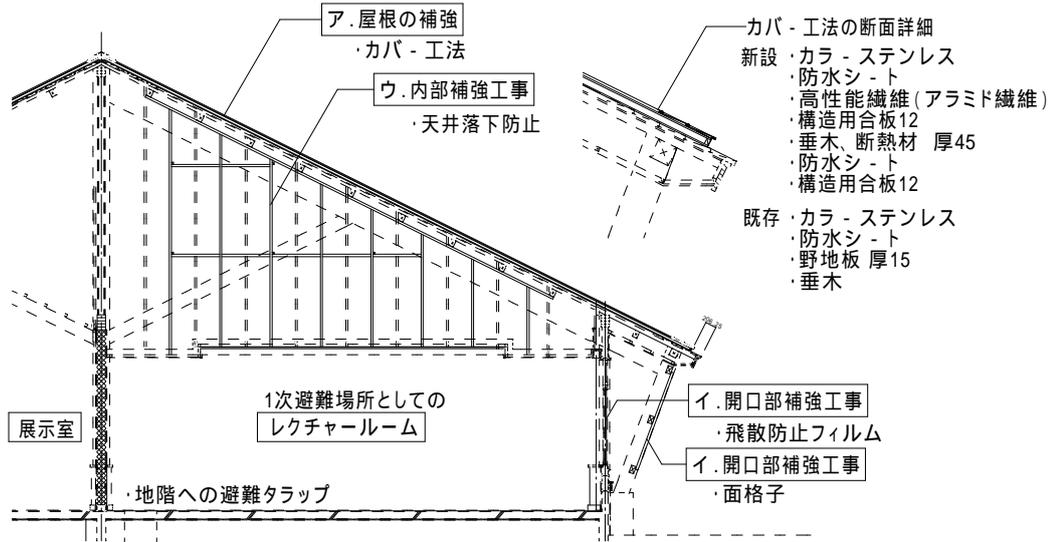
建築物の1次避難場所としてのレクチャールーム開口部についても面格子を設置します。噴石対策として設置する防護壁及び面格子は木製及び人工木材製とし、外付けブラインドも含めて、落ち着いた色彩で統一し、周辺景観に配慮します。さらにガラス面には、高性能飛散防止フィルムを設置し、噴石が当たっても鋭利に破損しない対策を行います。

ウ. 内部補強工事

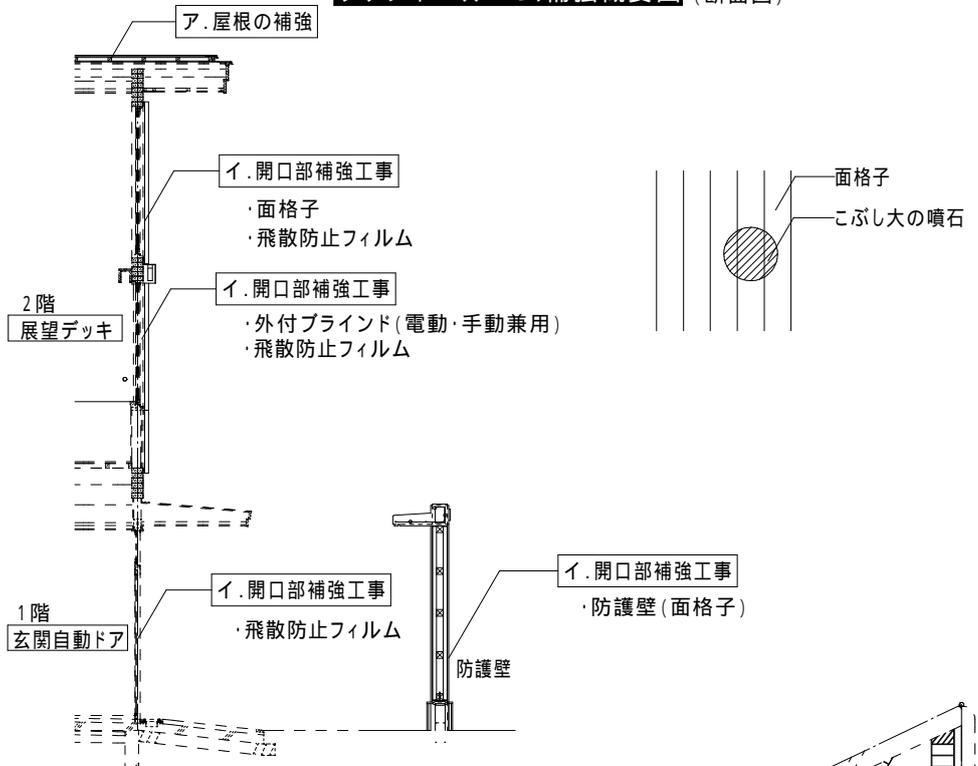
- 1) 施設内レクチャールーム(一次避難場所)の天井補強(吊木の追加)
- 2) 地階(二次避難場所)への避難経路の確保(避難用タラップの新設)
- 3) 非常用照明の設置
- 4) 非常用倉庫の設置

エ. 緊急時避難用四阿(あずまや)の設置

施設周辺において、緊急時避難場所として登山者などが、噴火時に駆け込める四阿(あずまや)を2棟新設します。また避難用案内板や非常時案内板を適切に設置し、多言語でのサイン表記も行います。



レクチャールーム補強概要図(断面図)



展望デッキ・玄関廻り補強概要図(断面図)



完成予想図

